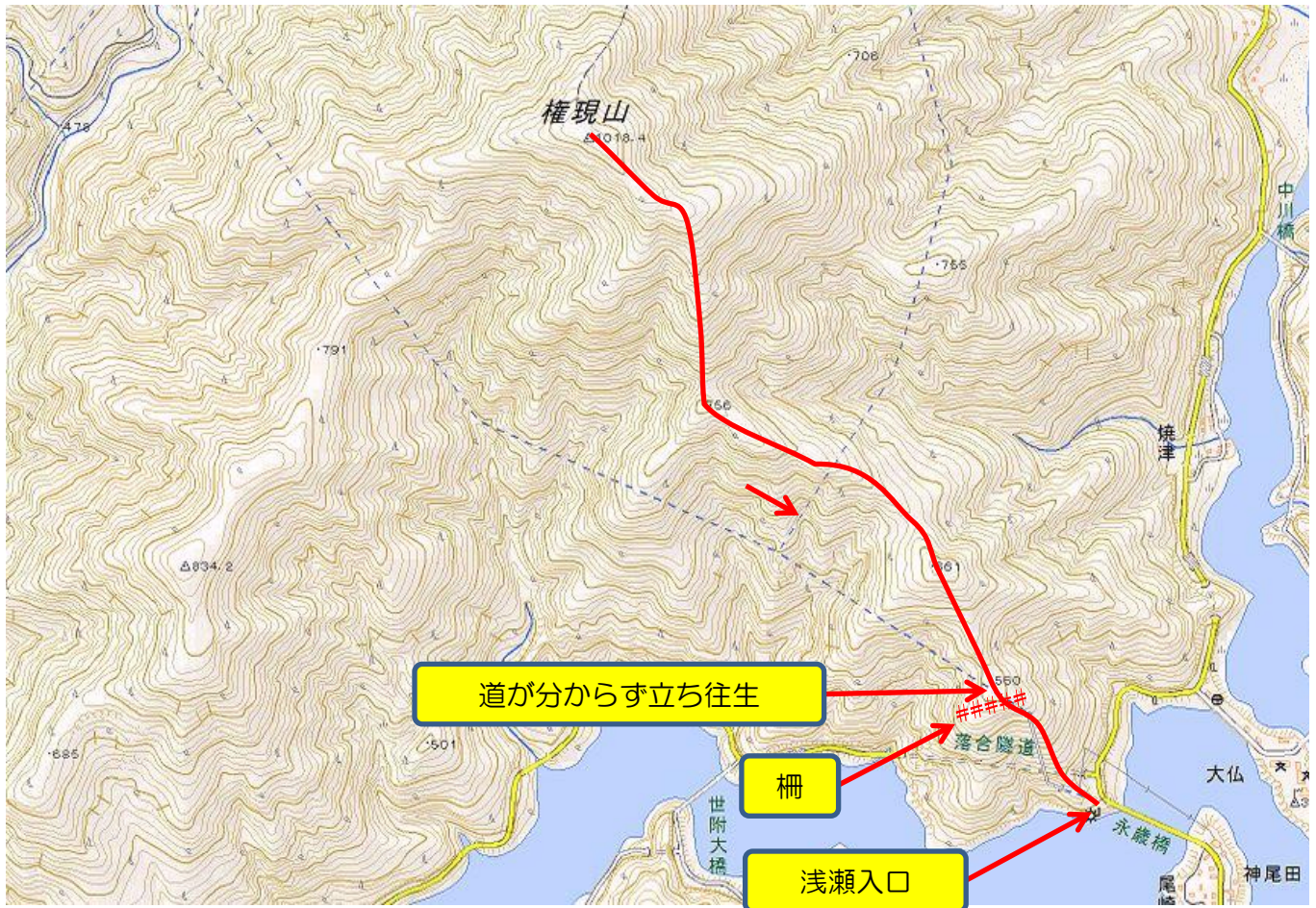


## 権現山道迷い(2012年11月)

丹沢湖近くまで下りたものの、両側が崖で、進行方向は落石防護柵が張り巡らされ、立ち往生してしまい救助を要請した。



## 解説

66歳～71歳男女3人は権現山から浅瀬入口への下山途中で道に迷った。丹沢湖近くまで下りたものの、両側が崖で、進行方向は落石防護柵が張り巡らされ、立ち往生してしまい救助要請。通りかかった人が山道に詳しい地元酒店のご主人を呼んで、助けられた。

末端で尾根が広がった箇所は迷いやすく、そこを通過して尾根末端に出ると、丹沢湖に面した急崖の上でルートが分からなくなるという遭難事例が複数あった。冷静に探せばルートは見つかるはずだが、精神的にも追い込まれていて気が動転してしまうのかもしれないと筆者は書かれている。

あと少しで下山。しかし、急な崖と柵に目がとらわれ、焦ってしまう。国土地理院の地形図には登山道が記載されていない。こうなると、道標を見つけたり、現地判断で登山道を見つけるしか方法が無くなってくる。読図技術にもよるが、焦って急斜面を下り滑落するよりも電波が届くようなら、救助要請も必要と思う。